仙台市科学館
蒲生調査レポート　速報版

No.273

2021.8.24

〒981-0903　仙台市青葉区台原森林公園4番1号
仙台市科学館　事業係
TEL:022-276-2201　FAX:022-276-2204
http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/

蒲生干潟の植物⑭

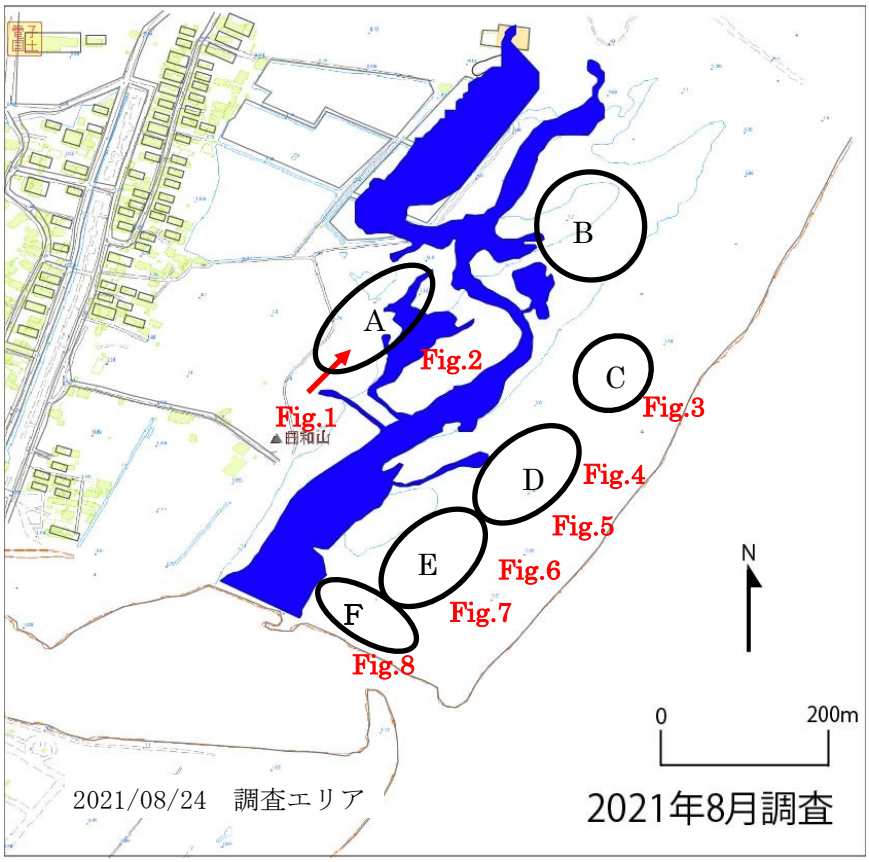

Fig.1　エリアAを南東側から撮影

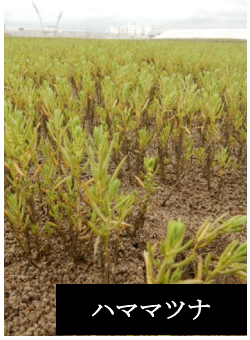

Fig.2　エリアＡで撮影

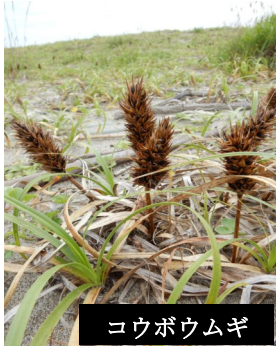

Fig.3　エリアＣで撮影

Fig.4 エリアＤで撮影

Fig.5　エリアＤで撮影

Fig.6　エリアＥで撮影

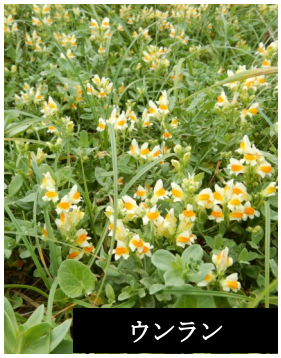

Fig.7　エリアＥで撮影

Fig.8　エリアＦで撮影

調査日時：2021年8月24日（金）9:30～11:00，天気:くもり

今回の調査は、干潮に近い時間帯の調査であった。定点観測では、ハママツナが一様な高さで揃って広がっているのが分かる。それぞれ15cmほどの背丈に成長している（Fig.1,Fig.2）。エリアＣでは、コウボウムギの穂から種子が落ち始めていた（Fig.3）。エリアＤでは、ハマエンドウやハマヒルガオの若い葉が多く見られた。5月の調査でハマエンドウが、6月の調査でハマヒルガオの花が見られ、7月にはすっかり見られなくなっていた。根が残っていて再び育ったのか、新しい種子から育ったかは不明だが、今後の生育状況を追跡したい（Fig.4,Fig.5）。エリアＥでは、メマツヨイグサが群生しているのが確認できた。これまでは10～15m間隔で点在していただけであった。また、ウンランが流木の隙間や周辺を埋め尽くすように群生しているのが2カ所で見られた。つぼみも多く、これから満開を迎えると思われる(Fig.7)。エリアＦに群生しているオニハマダイコンは、全体的に茶色になってきていた。これから多くの種子ができるものと思われる。

（宮﨑佳彦）